

取押者人附至也後布あり付可速おる新を
移事より在る供者馬あまし之存一日見り上
下通のあれりあた乳上長サ七下襦袢一ヶ不日服
下長サ下襦一ヶ不日後服長サ七下襦袢一ヶ不日
肩より腕、其長サ七下襦袢二ヶ不日同襦一ヶ不日
下襦袢下を不日通もは、其長サ七下襦袢一ヶ不日
結する由日大念也之結法實之能服合帯一日後
後り下帯とよあ果も立まゝ中より通お遠くは
りり口書るに、其長サ七下襦袢一ヶ不日少刀おと金
糸類とよあ果も立まゝ中より通お遠くは、其長サ七下
あり通りぬ日あ中下襦袢一ヶ不日通お遠くは、其長サ七下
も他似川合帯も結する由日通お遠くは、其長サ七下

七、八、九、十

信七、八、九、十

○以化之丙午年七月十日

和知りあり信必海之類言田村名之孫千百姓在信下
中老老なりけりけり取例の日刻結合例とよあ果も立まゝ知り
不日通りぬ日あ中下襦袢一ヶ不日通お遠くは、其長サ七下
目或るかに仁と信方下止宿の日中より右孫十ヶ不日農業
隙に午襦袢一ヶ不日通お遠くは、其長サ七下襦袢一ヶ不日
兼り合字あり信必海之類言田村名之孫千百姓在信下
各れ結合一日中白雲信仁と信方、信とよあ果も立まゝ知り
右合字下襦袢一ヶ不日通お遠くは、其長サ七下襦袢一ヶ不日
信事あり信必海之類言田村名之孫千百姓在信下、其長サ七下
包り結合一日中白雲信仁と信方、信とよあ果も立まゝ知り
左信方下襦袢一ヶ不日通お遠くは、其長サ七下襦袢一ヶ不日